

知の統合と横幹技術は産業活性化にどのように活かせるか ～日本のイノベーション力強化策を探る～

日時：2007年9月4日(火) 13:00～17:00 主催：横幹技術協議会、横幹連合
会場：キャンパス・イノベーションセンター 国際会議場(東京都港区芝浦3-3-6)
参加費：**横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**
【上記以外】一般5,000円

参加申込：【事前登録】ホームページ(<http://www.trafst.jp/>)よりオンラインにて登録いただくか、
下記の参加申込書にご記入のうえ、faxまたは電子メールにてお申し込みください。
(氏名、所属、連絡先Email、TEL、参加費の支払い方法等をご明記ください。)

【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】第三期科学技術基本計画の新機軸である「イノベーション創出と人材育成」更には、安倍総理が推進される「イノベーション25作戦」の実現には、個別の先端科学技術革新に加えて“知の統合”と“横幹型技術”の役割が大きいと考える。

本フォーラムにおいては、各講師から最近の関連する活動の成果を報告頂き、その実現に向けた“知の統合”と“横幹型技術”の役割について掘下げを試みる。

【プログラム】

(敬称略)

13:00-13:10	開会あいさつ	柘植 綾夫	(横幹技術協議会副会長、 前総合科学技術会議議員)
13:10-14:10	◆「イノベーション25戦略の概要と今後の作戦」	黒川 清	(内閣特別顧問、政策研究大学院教授)
14:10-14:40	◆学術会議対外報告「知の統合—社会のための科学技術 に向けて—」と社会・経済的価値創造への展開	木村 英紀	(横幹連合副会長、 前日本学術会議 科学者コミュニティと 知の統合化委員会幹事)
14:40-15:10	◆H18年度内閣府科学技術総合研究委託「イノベーション 戦略に係る知の融合調査」報告と産業活性化への展開	出口光一郎	(横幹連合 理事、東北大学教授)
(15:10-15:20)	休憩		
15:20-16:50	◆総合パネル討論会	モデレーター:柘植綾夫 パネリスト:講師3名に加えて コメンテーター2名 (岩橋良雄:新日鉄ソリューション副社長、 中村道治:日立製作所 フェロー)	
16:50-17:00	閉会あいさつ	江尻 正員	(横幹連合 副会長)

第16回横幹技術フォーラム 参加申込書

- お名前： _____ 2.ご所属： _____
- 電子メール： _____ 4.TEL： _____
- 参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。
(a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他
- 上記5で「(d) その他」に該当する方のみ、参加費についてご記入ください：
a) 請求書送付が**必要**な場合：【郵送先・ご請求書の宛名書き】〒 _____
b) 請求書送付が**不要**な場合：銀行振込予定 _____月 _____日頃 振込人名義 _____

【お申し込み先】横幹技術協議会 事務局 フォーラム係 tel & fax : 03-3814-4130 email : forum@trasti.jp
【お振込先口座】三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通口座 4524554 横幹技術協議会 (オウカンギジュツキョウギカイ)
※銀行振込手数料はお振込主様にご負担ください。

知の統合と横幹技術は産業活性化にどのように活かせるか ～日本のイノベーション力強化策を探る～

2007年9月4日(火) 13:00～17:00 キャンパス・イノベーションセンター 国際会議場

【講演要旨】

(敬称略)

講演

「イノベーション25戦略の概要と今後の作戦」

◆ 黒川 清 (内閣特別顧問、政策研究大学院教授)

安倍内閣が打ち出した「イノベーション25」は何を提示しているのか、何がユニークなのか。イノベーションとは何か、なぜ世界中でイノベーションという言葉が急速に広まっているのか。これらの現象にはすべて適切な説明可能な背景があるはずである。これらの背景と、イノベーションの本質、そこから展望できるこの報告書の特徴、弱点を理解しないと、政策は効果を出すことはできない。本講演では、「イノベーション25」をまず解説しながら、産業構造の変貌と世界の潮流と動向、日本の課題を考察し、このユニークな政策の理念と、政策を生かす方策を共有したい。動かなければ絵に描いたもちである。レトリックはもう聞き飽きたほど充分にしている、いまは行動するのみであろう。しかし、一人ひとりが行動できるか？ここにこそ大きな課題がある。

講演

「学術会議対外報告『知の統合－社会のための科学技術に向けて－』と社会・経済的価値創造への展開」

◆ 木村 英紀 (横幹連合副会長、理化学研究所チームリーダー)

学術会議では昨年、「科学者コミュニティと知の統合委員会」が作られ、文と理の双方からなる知の統合に関して活発な議論が1年間行われた。その報告書を幹事として取りまとめにあたった経緯と報告書の概要を説明する。

講演

「H18年度内閣府科学技術総合研究委託『イノベーション戦略に係る知の融合調査報告』と産業活性化への展開」

◆ 出口光一郎 (横幹連合理事、東北大学教授)

異なる分野間の知的な触発や融合により別の価値、成果を生み出し、イノベーション推進を果たし得るための環境は、どのように整備されるべきかについて、インタビューとアンケート、内外比較等による事例の調査・分析を行った。特に、本来とは異なる分野の知識や方法が研究開発で大きな役割を果たした事例や、複数の分野の知識や方法がうまくかみ合っ社会価値や経済的価値を持ち得た事例を取り上げ、異分野の「知の融合」がイノベーション戦略の一つの形態となり得ることを検証した。

パネル 討論

「総合パネル討論会」

◆ モデレーター: 柘植綾夫 パネリスト: 講師3名に加えて

コメンテーター2名 (岩橋良雄: 新日鉄ソリューション副社長, 中村道治: 日立製作所 フェロー)

日本と世界のこれからの20年を見据えた長期戦略指針「イノベーション25」の実現の成否は、21世紀の国創りと人創りに大きく係わりを持つ。その実現のプロセスにおける知の統合と横断型科学技術の役割について、三人の講演をもとに掘り下げる。特に知の創造を如何に社会経済価値創造に結合させるか、ひいては持続的発展を支える産業の活性化に活かすかの論点に焦点を当てる。産業の最先端で技術経営の指揮を取るコメンテーター二人を加えて、日本の強みを活かしたイノベーション力強化策を探る。

交通案内

■ キャンパス・イノベーションセンター 国際会議場

住所：東京都港区芝浦3-3-6

最寄駅：JR山手線・京浜東北線 田町駅（徒歩1分）、都営三田線・浅草線三田駅（徒歩5分）

